

マーケットの動き（2021年5月10日～5月14日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

週の前半は、米国消費者物価指数の発表を12日に控え、インフレ懸念の高まりから米国長期金利が上昇し、米国株式市場は下落しました。週の後半は、米国長期金利の上昇一服から買戻しの動きがみられたものの、前半の下落幅が大きく週を通しては下落しました。

欧州株式市場もおおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し（2021年5月）

米国、欧州とも上値の重い展開

米国：政府による大規模な財政支出やFRBによる緩和的な金融政策が継続する中、経済活動の正常化による企業業績の改善見通しが続くともみえています。しかし、株式相場が上昇基調を続ける中、ハイテク企業に対する規制強化に加え、依然として長期金利上昇に対する警戒感も残ることから調整圧力もかかりやすく、当面は上値の重い展開とみえています。

欧州：企業業績は世界景気回復の恩恵を受けつつ回復に向かうとみられますが、域内主要国での行動制限長期化の影響も懸念されることから、上値の重い展開とみえています。

	5月14日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,173.85	▲1.39%	1.19%	15.08%	46.32%
NYダウ	34,382.13	▲1.14%	1.93%	14.80%	45.53%

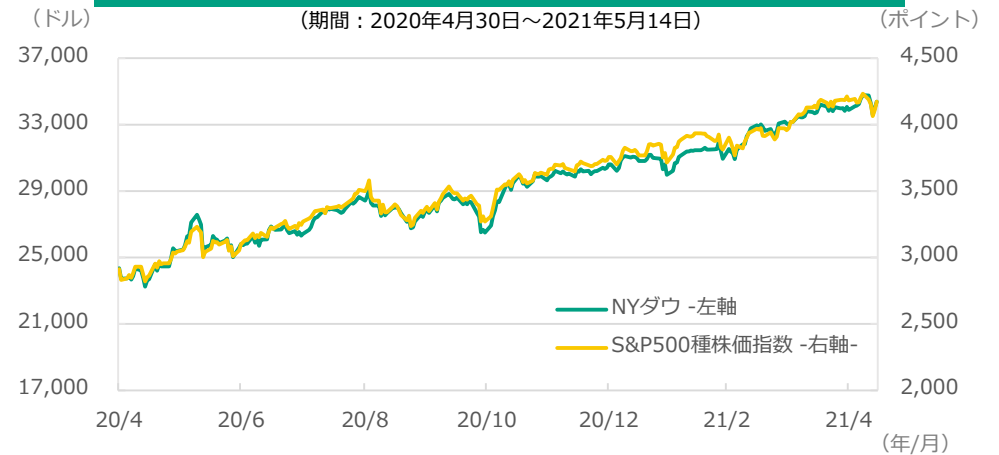
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202105_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成